

## はじめに



本県においても、既に人口減少が始まっており、地域経済の縮小や、様々な分野での担い手不足、都市や集落の機能低下などが懸念されています。

このような状況の中、人口減少を緩やかにしていくとともに、将来にわたって県の活力を維持していくため、それぞれの地域において、住んでいる方々が暮らしやすい環境を作っていくことが重要です。

このため、県では、これまでの地方創生における取組の成果を踏まえるとともに、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」なども勘案し、デジタルの力などを活用して地方創生を実現・深化していくため、第3期千葉県地方創生総合戦略を策定しました。

本県は、東京圏にある中、三方を海に囲まれ、豊かな自然と文化、優れた都市機能、バランスの取れた産業構造など、様々な魅力を有しており、年齢、性別、障害の有無、国籍及び文化的背景、性的指向及び性自認などを問わず、自分に合ったライフスタイル、暮らしを実現できる可能性を有しています。

また、今後、成田空港の更なる機能強化や広域的な道路ネットワークの充実により、半島性を克服し、県内の活力をより一層向上させる好機を迎えています。

そこで、第3期戦略では、本県の持つ様々な魅力や可能性を伸ばし、千葉で暮らすことの価値の創造、すなわち「千葉らしいライフスタイルの創造」を目指すべき理想像として掲げ、その実現に当たっては、様々な分野において、デジタル技術を活用することにより、生産性や利便性を高めるとともに、サービスや製品など新たな価値を生み出すことで、地域の活力を維持・向上させていくこととしています。

すべての県民が自分に合ったライフスタイルを実現でき、その魅力が広がっていくことにより、千葉県へ向かう人の流れが加速するよう、市町村、企業や団体、県民の皆様とともに、千葉県の総力を結集しながら、将来にわたり持続可能な地域づくりを進めてまいります。

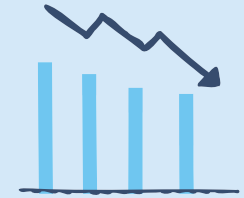
令和6年6月

千葉県知事 熊谷俊人

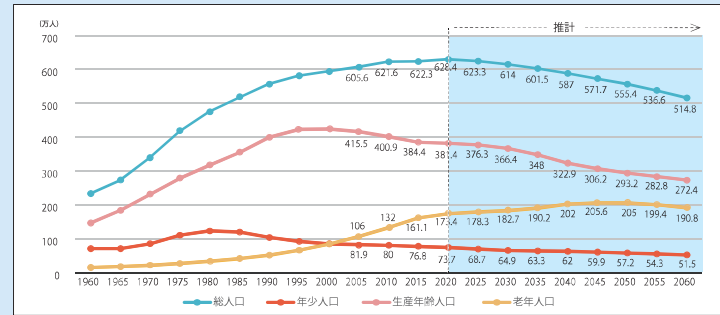
## 千葉県の将来人口

40年後には2割程度減少!!!

2020年に628万4千人であった本県の人口は、2060年には514万8千人まで減少することが予測されています。



総人口及び年齢3区分人口の推移(千葉県)



資料:1960~2020年は総務省「国勢調査」、2025~2060年は千葉県推計 引用元:千葉県「千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～」

## 人口減少の影響

地域経済の縮小、様々な分野での担い手不足、都市・集落の機能低下、社会保障制度の持続可能性などの問題が生じ、また、地域によっては、空き家の増加や商店の閉鎖、交通、医療・福祉等のサービス低下などの影響が生じている。



## 第3期千葉県地方創生総合戦略において 取り組むべき課題



### 働く

- 様々な分野において担い手不足の解消が必要
- 本県のポテンシャルを生かし、良質な雇用の場の創出が必要
- 観光客を惹きつける高付加価値の観光コンテンツの醸成が必要

### 活躍する

- 年齢や性別などに関わらず誰もが活躍できる環境が必要
- 社会に出てからも、必要なスキルを身に付けられる環境が必要
- 半島性を克服する交通ネットワークの整備が必要
- 地域のブランド化の推進や、移住等の促進が必要

### 育み・育つ

- 子育て環境の更なる充実が必要
- 安心して子どもを生み育てることができる環境づくりが必要

### 暮らす

- 地域で安全で快適に暮らせるまちづくりが必要
- 健康で安心して暮らせる社会の構築が必要